

リーダー研修会 報告



7月24日(土)と7月25日(日)に、生徒会行事の一環としてリーダー研修会を開催しました。芸北分校からは生徒会の生徒5名が参加し、加計高校からは11名が参加しました。

研修の目的は、「交流会を通して他校との交流を図るとともに、連携を深める」、「リーダーとしての自覚を持ち、これからの生徒会活動に積極的に取り組む」の2点です。初日のアイスブレイクから始まり、一緒に研修や食事の準備等を行うことで、しっかりと交流を図ることができました。

また、志賀光伸先生を招いてのリーダー研修会では、グループに分かれての楽しいゲームを実施した後、「リーダーとして大切なことは何か」を皆でじっくり考え、「パーソナルスペース」や「PM理論」、「メラビアンの法則」等の考え方を教わりました。生徒は研修を通して「コミュニケーションを通して相手に働きかけ、相手に受け入れてもらうこと」の大切さや難しさを学びました。

短い期間での研修でしたが、参加生徒が今回の研修を生かして、今後の生徒会活動を盛り上げてくれると期待しています。



生徒の振り返り（一部抜粋）

・芸分と加計高は対照的だと感じた。例えば、先輩・後輩関係や、行事に対する意欲などです。そこをお互いにリスペクトしていきたい。また、今後学校の雰囲気さらに良くなるように、生徒会として学校を盛り上げていきたい。（2年 橋本）

・今回のリーダー研修で一番印象に残っているのは、志賀さんのお話です。自己紹介は自分を知ってもらうために本当に大事だということや、言葉だけだと相手にあまり伝わっていないんだということが分かりました。（2年 杉本）

・2年生がすごく引っ張ってくださる姿を見て、自分もこれから生徒会の一人として引っ張っていけるようになりたいと思いました。また、話し合いの時などで静かになって全員がしゃべらなくなった時に、勇気を出して自分から何か発言できるようになりたいです。（1年 小田）

・ほとんどが2年生だったので、あまり積極的に発言することができなかった。でもその分、2年生が指揮する姿をよく見ることができたと思う。それを自分ができるように、まずは学級でしっかり積極的に発言しようと思います。また、2校の生徒会の距離が近づいたので良かったです。（1年 水野）

・先輩や後輩がいる中でも、しっかりと話に参加して自分の意見は全て言い、他の人の話を聞くときは否定せず尊重して話し合いをすることを意識して行動し続けようと思いました。（1年 横畑）